

質問

利用しやすい産後ケアを

町長

サロン型ケアの導入を進める



うちだ けいこ 議員
内田 圭子

質問

温泉施設を活用した産後ケア事業の開始から1年が経過した。利用状況は。

町長 1年間で延べ28人が利用。満足度は100%。

質問

予約が取りにくいという声がある。今後の対応は。



温泉型ケアで利用されている玉峰山荘

町長

温泉型ケアは観光施設を活用しているため利用時期に制約がある。その補完として、少人数の親子が集い、相談・交流・休息を組み合わせたサロン型産後ケアの導入準備をしている。たとえば民間の施設やキッズスペース、各地域で活動されている子ども食堂のような場も想定をしている。

質問

産後の支援をわかりやすく届ける考えは。

町長

届きやすい形で周知を行うとともに、事業ではなくサービスとして分かりやすく届けられるよう、今年度中の試行を進める。

質問

助産師や保健師が地域の中で力を発揮できる環境づくりは。

町長

DXや業務改善を進めながら、助産師や保健師が地域へ出向き、町民と関われるよう体制整備を進める。

安心して過ごせる学校環境づくり

質問

小・中学校では、生理用品が必要になった児童生徒にどのような対応をしているか。

質問

今後小学校でもトイレへの生理用品設置を試行的に導入する考えは。

教育長

小学校は保健室で配付し、養護教諭が相談対応を行っている。中学校は横田中学校でトイレへの設置を実施しており、仁多中学校も1学期中に設置予定。

教育長

家庭と学校の連携や相談体制を重視している。今後、子どもや保護者の要望、養護教諭の意見等踏まえながら検討する。